

# CentreCOM® 8312 リリースノート

この度は、CentreCOM 8312をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。  
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解  
いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。  
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

---

## 1 ソフトウェアバージョン

Version 5.05 ( LFSW505 )

---

## 2 機能サポート範囲

ポートミラーリング機能の<Destination Snoop>パラメータ「marked」の機能は、現在未サ  
ポートとなっております。

本バージョンで、IPX MIBが追加されましたが、現在未サポートとなっております。

本バージョンで、Apple Talk MIBが追加されましたが、現在未サポートとなっております。

本バージョンで、筐体監視機能が追加されましたが、現在未サポートとなっております。

本バージョンで、CentreCOM Web for 8312のエキスパート設定に下記の項目が追加され  
ましたが、現在未サポートとなっております。

- ・ FMU MIB Parameters
- ・ Server Access Parameters
- ・ SMTP Parameters
- ・ Syslog Parameters
- ・ Status Monitoring Parameters
- ・ STP Topology Change Parameter ( Spanning Tree Parameters内 )
- ・ AppleTalk Zone Filter ( AppleTalk Router Parameters内 )
- ・ AppleTalk RTMP Filter ( AppleTalk Router Parameters内 )

---

## 3 取り扱い上のご注意

工場出荷時設定に戻す際の注意点

ロータリースイッチを「C」に設定して電源を投入した時は、必ずステータスLED0～7 がす  
べて点灯するのを確認してから電源を切断してください。

ステータスLED0～7が点滅している間（約10秒間）に電源を切断してしまうと、フラッシュ  
メモリ上のデータが破壊されるため、装置が起動できなくなります。

---

## 4 本バージョンでの修正項目

本バージョンでは、前バージョン（Version 3.12pl2）から下記の項目が修正されました。

リビジョン（Rev）A4のハードウェアに対応し、ポートの制御方法を変更しました。  
Rev A4のハードウェアをご使用の際は、Version 5.05のソフトウェアで運用してください。  
（リビジョンは本体底面に貼付されているシリアル番号シールに記載されています。）

Telnetでログインしているときに、Telnetセッションが切断された場合、再ログインすることができない問題を修正しました。

FTPサーバへログインし、ファイル転送を行っているときに、FTPセッションが切断された場合、FTPを終了することができない問題を修正しました。

MIB- ipRouteInfoのGetで無意味なOIDが返信される場合がある問題を修正しました。

MIB- ipRouteAgeのGetで異常に大きなOIDが返信される場合がある問題を修正しました。

CentreCOM Web for 8312のセットアップウィザード使用時に、httpdを停止するようなパラメータ設定をcommitした場合、httpdがリソースを開放せず、コンソールやTelnetからのコマンド操作を行うことができなくなる問題を修正しました。  
httpdを停止した場合は、リブートが必要となるように変更しました。

RMON etherHistoryのUtilizationが正しくない問題を修正しました。

---

## 5 本バージョンでの追加機能

本バージョンでは、前バージョン（Version 3.12pl2）から下記の機能が追加されました。

CentreCOM Web for 8312のエキスパート設定 VLAN Parameters内 VLAN Interfaceで、Interface Nameをラジオボタンで一度に複数選択することが可能になりました。

---

## 6 制限事項

コンソールを使用中は、Telnetからログインすることはできません。また、Telnetを使用中は、コンソールからログインすることはできません。

プロトコルベースVLANからポートベースVLANにモードを変更する場合、またはその逆の場合、構成定義の内容が大きく変更されるため、再起動でエラーになる可能性があります。

このようなVLANモードの変更を行う場合は、新規の構成定義ファイルとして定義し直すようにしてください。

パラレルリンクの一方から他方への端末（ホスト）移動は学習情報エージアウト時間内（デフォルト＝5分間）は行うことができません。エージアウト時間内は、端末（ホスト）移動を行わないようにしてください。

複数のWWWブラウザから構成定義設定操作を行うと、一方がcommitした時点で他のWWWブラウザが設定した内容まで反映されてしまいます。複数のWWWブラウザからの操作は行わないようにしてください。

CentreCOM Web for 8312のセットアップウィザードにおいて、VLANのIPアドレスを削除し、そのIPアドレスと同一サブネットのアドレスを別のVLANに付与すると、後に付与したIPアドレスを使用してCentreCOM 8312に接続できない場合があります。このようなパラメータ変更を行った場合は、機器の再起動を行ってください。

Interface Group MIB-ifAdminStatus（1.3.6.1.2.1.2.2.1.7）のSet-Requestでは、10/100Mbps Ethernet物理インターフェイスの状態をup（1）あるいはdown（2）に設定することが可能です。なお、その他の種別のインターフェイスに対するSet-Request、および10/100Mbps Ethernet物理インターフェイスに対するtesting（3）のSet-Requestはエラーとなります。

RIP2ではAggregation（ルーティング情報の集約）を行いません。このため、RIP2で、V1互換モードでもV1形式の要求パケットに応答しません。ただし、V1形式の広告パケットは取得するので、CentreCOM 8312のルーティング情報には反映されます。

RIP2でRIPフィルタのListen = on, Supply = offとするとRouting広告を受信しても、ルーティングテーブルへ情報を反映しません。

RMON Managerの種別によっては、連続してAlarmEntryの削除を行うと、まれにSNMP Agentが停止してしまう場合があります。

HistoryEntry、AlarmEntry、EventEntryのModifyができません。

HistoryEntry、AlarmEntry、EventEntryのIntervalを30秒の倍数以外に設定しても、その値より大きい直近の30秒の倍数に変更されます。

---

## 7 CentreCOM Web for 8312使用上のご注意

WWWブラウザソフトは、Netscape Navigator 3.0以上、Internet Explorer 4.0以上をご使用ください。

セットアップウィザードを使用する場合は、WWWブラウザに付属している「戻る」や「進む」などの機能は使わないでください。

また、キャッシュは「しない」に設定してください。

HTTP-SNMP GatewayでのMIB表示において、300件以上のルーティングテーブルMIB（ipRouteTable）を獲得しようとする、WWWブラウザが終了することがあります。

---

## 7 CentreCOM Web for 8312 使用上のご注意

Netscape Navigatorを使用して、CentreCOM Web for 8312からソフトウェアのアップロード「Firmware」や、構成定義ファイルのアップロード「Restore」を行うとき、ファイルを日本語ディレクトリの下に指定すると転送が行われません。

(例: C:\デスクトップ\FSW210p3.FTM)

CentreCOM Web for 8312から構成定義のバックアップを行う場合、以下の点にご注意ください。

- Netscape Navigator 4.0などではリンクをクリックすると構成定義内容が画面にそのまま表示されます。[ファイル]メニューで[名前を付けて保存]を選択し、適切なファイルに保存してください。
- 保存したファイルでは、改行コードはLFのみです。Windows 95/98のメモ帳などで参照すると改行が正しく表示されません。ワードパットなどのエディタを使用してください。

本バージョンでは、前バージョン (Version 3.12pl2) から、エキスパート設定の項目名が一部変更となりました。(「オペレーションマニュアル Web編」をご参照ください。)

- IP Router/Host Parameter内 IP Filter SwitchをIP Filter Modeに変更。(68ページ)
- IP Router/Host Parameter内 DHCP/Bootp ServerをDHCP/Bootp Relay Agentに変更。(73ページ)
- SNMP Parameters内 SNMP MIB View ListをSNMP MIB Access Permissionに変更。(78ページ)